

令和5年度の事業計画書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人福島就労支援センター

1 事業実施の方針

以下の事業を確実に実施することを目標とする

- ・パソコン技術指導や就職支援活動に関する事業を行い、地域活性化や職業能力の推進に寄与する
- ・被災地域の心の復興支援として避難者と地域住民、若者との生きがい健康交流事業を行う
- ・雇用喪失、収入減少などで生活困窮に陥っている世帯の子どもに無料のオンライン学習支援を行う
- ・外国人労働者に対してビジネスマナー講座を開催し働きやす環境づくりの推進に寄与する
- ・親子ポッチャ交流教室を開催し、障がい者への理解を深め、親子や親同士の交流の場を提供する

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施予定日時 (B) 当該事業の 実施予定場所 (C) 従事者の 予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位: 千 円)
地域住民への 基礎的なパソ コン操作の指 導	パソコン資格取得指導、パソ コン技術指導を行い、地域におけ る職業訓練の支援を行う	(A) 週6日 10時~19時 (B) 法人事務所 (C) 1名	(D) 福島市及び周辺 自治体に居住の方 (E) 1日5名	5,000
子どもの学習 支援活動	習い事に通わせる事が難しい 家庭の子どもを対象に学習支 援活動を行う	(A) 週1日 (B) オンライン (C) 3名	(D) 福島県内の小中 学生 (E) 1回5名	700
就労目的での 在留が認めら れる在留資格 取得者への支 援事業	外国人労働者に対して日本に おけるビジネスマナー講座を 行い、働きやすい環境を整える	(A) 年4回 10時~17時 (B) 各事業所 (C) 2名	(D) 福島県内の外国 人労働者 (E) 1回7名	500
受託業務の実 施	福島県県内避難者・帰還者心の 復興事業への参加、地域交流会 を行い避難者の孤立を予防し、 生活を豊かにする	(A) 月5回 (B) 北沢又大和田 集会所 (C) 4名	(D) 福島県県内避難 者、地域住民、若者 (E) 月60名	2,500
受託業務の実 施	親子ポッチャ交流教室を開催 し、障がい者への理解を深め、 親子や親同士の交流の場を提 供する	(A) 年10回 9時~12時 (B) 市体育館 (C) 3名	(D) 福島市及び周辺 自治体に居住の親子 (E) 1回25名	500